

Collection du Musée du Prieuré

Maurice Denis

フランス・プリウレ美術館所蔵

モーリス・ドニ展

——— 愛の預言者



(木の葉を埋もれたびじ) 1895年 © Musée Départemental Maurice Denis "Le Prieuré" Saint-Germain-en-Laye

2003.9月12日(金) - 10月19日(日)

- 休館日=月曜日、ただし、9月15日(月・祝)・10月13日(月・祝)は開館、9月16日(火)・10月14日(火)は休館
- 開館時間=火~金曜日(9:30~19:00) / 土・日曜日・祝日(9:30~17:00) 入室はいずれも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展式
- 入場料 一般 900円(720円) 高大生 500円(400円) 小中生 300円(240円)
- ()内は前売りおよび団体20名様以上の料金 ●会期中の土曜日は小・中・高生入場無料
- 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
- 主催/高松市美術館 読売新聞大阪本社 美術館連絡協議会 西日本放送 後援/フランス大使館 協賛/花王株式会社 協力/日本航空

Takamatsu City Museum of Art
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4
Tel.087-823-1711



(カトリックの秘蹟) 1889年



(リラの花と若い女) 1892年頃



(エマオの巡礼者) 1895年



(マルトの肖像) 1898年



(プリウレ前の自画像) 1921年



(猫といえるランソン夫人) 1892年頃

モーリス・ドニ (1870-1943) は、フランス象徴派を代表する画家の一人です。1888年、ゴーギャンに影響され、画家セリュジエらと象徴派の芸術家グループ、ナビ (ヘブライ語で「預言者」の意) 派を結成し、妻マルトや友人、身近な風景を、優美な曲線と神秘的な色彩で描きました。理論家としても優れていたドニの当時の言葉「絵画とは一定の秩序のもとに配された色彩によって覆われた平らな面である」は、のちの抽象絵画の出現までをも予感させたものとして有名です。

ナビ派の解散後、20世紀に入っても、ドニは同時代の芸術家たちと交流をもち、古典的な美を追求し、とりわけ宗教芸術の復興に力を注ぎました。油彩画のみならず、室内装飾やステンドグラス、木版画やリトグラフによるポスター、本の挿絵、舞台装飾などさまざまな分野で活躍し、名声を博しました。神の平和と、幸福な家庭のイメージを描き続けたドニは、愛を描いた預言者 (ナビ) であったともいえるでしょう。

ドニは晩年、パリ郊外のサン=ジェルマン=アンレーにある、小修道院 (プリウレ) とよばれる古い建物に暮らしました。今日、そこはイヴリーヌ県立プリウレ美術館として、ドニの生涯にわたる作品を収蔵、公開しています。日本では22年ぶりの回顧展となる本展は、油彩、水彩、素描、版画、装飾図案など同館所蔵の約80点で、ドニの人間愛を基調とする華やかで優しさに満ちた芸術を紹介します。

Maurice Denis

記念講演会

- 「モーリス・ドニと世紀末」
本江邦夫氏 (多摩美術大学教授・府中市美術館館長)
9月13日 (土) 午後2時〜 / 美術館1F講堂 (無料・先着順)

ギャラリートーク (観覧券が必要)

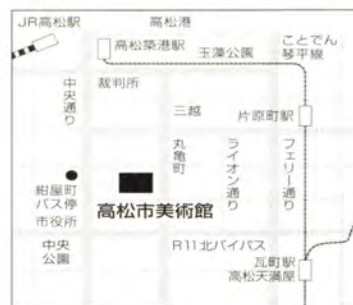
- 当館学芸員が展示作品の解説をいたします。
9月20日 (土) と10月4日 (土) 午後2時から、2階展示室にて
●美術館ボランティア「Civi (シヴィ)」とともに鑑賞しませんか。
毎日曜日および祝日の午前11時〜午後2時〜の一日2回、2階展示室にて

アートで遊ぼう! (鑑賞プログラム後期)

- 対象: 小学3〜6年生 定員: 15名 (3回通し・申込制・先着順)
時間: 午前9時30分〜11時
開催日: 10月4日 (土) 100年前にドニおじさんが考えたことって?
11月15日 (土) 物語をつくらう!
2月28日 (土) きみも象谷さんになろう!

次回催し物のお知らせ

- 2003年10月31日 (金) - 12月7日 (日) 舟越 桂 展 - 森から来たささやき



交通のご案内

JR 四国線 - JR高松駅下車、南へ徒歩15分
ことでん - 瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
バス路線 - 紺屋町バス停下車、徒歩3分
駐車場 - 美術館地下に公営駐車場 (有料、乗用車144台収容)